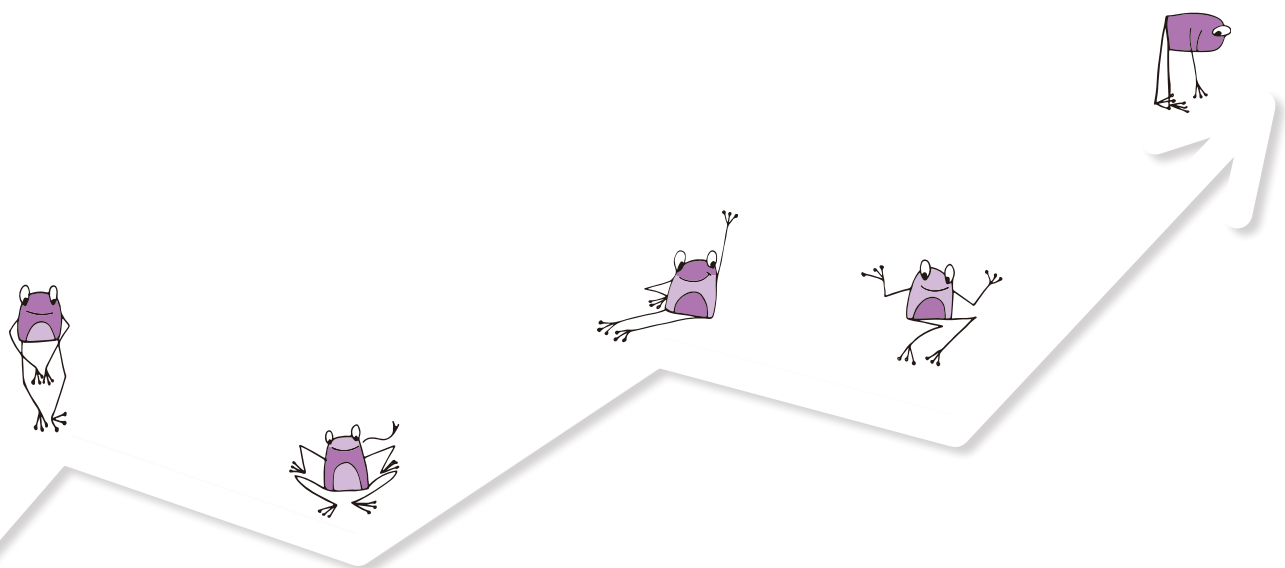




特集

現場改善のための 業務量調査

医療の複雑化・高度化，在院日数の短縮，超少子高齢化などさまざまな要因により，臨床現場の多忙さに拍車が掛かっています。そのような状況下において，業務改善や職場の活性化，経営陣との交渉材料となるデータを得ることなどの目的で，業務量調査を行う施設は少なくありません。

しかし，看護業務の分析は大変奥が深く，業務量調査以外にも多くの分析手法が存在する上，臨床現場の限られたマンパワーで業務量調査を実施して網羅的にデータを収集することは容易ではありません。そこで本特集では，業務量調査の特徴をつかみ，自施設で発生している問題にしばった調査目的を設定し，現場改善につながる調査を行う方法を考察します。